



国際第3委員会 ミッション 中国、韓国、台湾の知財研究 委員長 霧生(日産自動車)

【活動方針】

- ・楽しく活動しよう！
- ・“日本企業”としてだけではなく各国の“一出願人”という立場で検討する
- ・JIPA内外の他組織とも積極的に交流する
- ・調査成果の積極的な意見発信を行う



第1小委員会

テーマ：中国特許審査の実態、変遷に関する調査研究

サブテーマ1：日本企業の中国特許出願に対する審査意見通知の分析

●狙い

- ・審査意見通知の概要の把握
- ・FA(First office Action)前補正の傾向と審査への影響の把握
- ・2017審査指南改正の影響の把握

●調査内容

- ・意見通知の回数、内容等の統計
- ・FA前補正の現状、効果に関する分析
- ・プログラム発明等への2017審査指南改正の影響

メンバー：荒巻(王子HD), 荒井(本田技研), 奥田(日本電産), 栗本(シャープ), 齊藤(三菱重工), 崎山(カネカ), 普野(リコー), 林(JFEスチール), 西山(ワコム)

●背景

審査の現状（特に内容）に関する統計データが入りづらい



2017審査指南改正の影響もできれば知りたい



●アウトプット

知財管理誌への論説投稿

サブテーマ2：中国における特許権の被権利行使の実態ととりうる対策

中国特実訴訟件数の急増

国別	@2016	日本の80倍	米国の2.4倍
中国	12000件		
米国	5000件		
日本	150件		

提訴された際の一般的な対抗手段である

- ・公知公用公然実施の主張
- ・自由技術の抗弁
- ・先使用の抗弁

成立のための要件について

証拠に着目して深掘りするとともに

- ・懲罰的賠償への
- ・日本企業の対応についてもまとめます。



メンバー：宮原(TOTO), 内堀(凸版印刷), 川添(積水化学), 藤田(フジクラ), 井下(富士通), 青木(ヤンソン), 飯村(日立), 岡崎(大阪ガス)

サブテーマ2：中国審査の引用文献の分析

●狙い

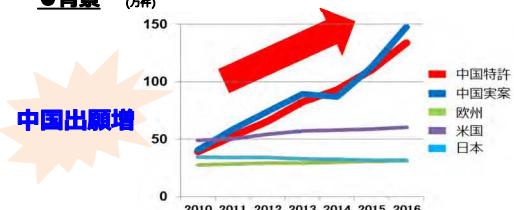
- ・中国文献の審査引用率の増減？
- ・中国審査官の調査能力の向上？
- ・中国審査の独自性？

●調査内容

- ・中国文献の審査引用率の推移調査
- ・中国と他国審査との引用文献の比較
- ・中国審査の傾向分析

メンバー：橋本(東芝), 井田(オリバース), 前田(サッポロHD), 西尾(三井化学), 平山(大日本印刷), 山口(豊田自動織機), 和田(三菱マテリアル), 永島(日鉄総研)

●背景



●アウトプット

知財管理誌への論説投稿

第3小委員会

テーマ：知的財産戦略等に関する調査研究

サブテーマ：中国での実用新案権の活用戦略に関する調査研究

●背景

- ・実用新案の出願・登録件数は、特許以上に増加しており、特に登録件数は特許の3倍以上である。
- ・実用新案は以前より有効と言われているが、日本企業では、戦略的に活用されていない。

●狙いとアプローチ

中国の実用新案権の件数上位出願人を分析することで、実用新案の出願理由や出願戦略を調査し、知財管理誌に論説を投稿予定（2020年9月頃）

メンバー：一戸(JSR), 氏原(パナソニック), 原田(NEC), 丸岡(AGC), 米川(トヨタ自動車), 欧陽(ソニー)



参考になる実用新案権の活用方法はないだろうか？